

地元企業の魅力を発信

浜松湖北高 取材成果 ブログ記事に

浜松市北区の県立浜松湖北高の商業科3年生が地元の中小企業を取材してブログなどで魅力を発信する授業が26日、最終回を迎えた。生徒約30人は同校でブログ掲載用の記事の仕上げに取り組んだほか、1年間の活動の成果を話し合った。

地元企業に関心を持つてもらうと総合工ネルギー会社「エネジン」（中区）が企画。生徒は6グループに分かれ19企業・団体を訪問し、仕事内容ややりがいを取材した。

最終回の授業では「身近な企業でも仕事内容は知らないことがたくさんあった」「お客さんへの気遣いが（細江支局・柿田史雄）すこかった」などと生徒同士で感想を話し合った。卒業後に病院で医療事務の仕事に就く予定の藤田華澄さん（18）は「働く上で相手への思いやりが大切だと取材を通じて学んだ。自分が仕事をする際に生かしたい」と話した。



ブログ掲載用の記事を書く生徒
|| 浜松市北区の県立浜松湖北高